

平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)	
事業名	森林整備事業(独法・復興関連事業)		担当部局	復興庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人森林総合研究所法(附則第8条)		関係する計画、通知等	森林・林業基本計画(平成23年7月26日閣議決定) 独立行政法人森林総合研究所業務方法書(平成20年4月1日付林整研第1475号農林水産省指令) 中期目標(平成23年3月2日付22林整第814号農林水産省指令) 中期計画(平成23年6月30日付23林整第276号農林水産省指令)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	土地所有者自身による森林整備が困難な奥地水源地域において、独立行政法人森林総合研究所(以下「研究所」という。)が森林を造成し、東日本大震災の被災地で国民生活に不可欠な水の安定供給や国民の生命・財産を脅かす土砂の流出・崩壊の防止等に寄与することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○水源林造成事業</p> <p>重要な流域等の国有保安林(予定地を含む)において無立木地等を対象とした植林や、低コストで壊れにくい作業道の開設等を行いながら、既存の広葉樹を残して育林する「針広混交林」や、上層木の一部を伐採した後下層木を植林して多様な樹冠層を形成する「複層林」を造成するために必要な費用を研究所に補助する。</p> <p>特に、本事業では、東日本大震災により林地荒廃等の森林被害が発生した箇所において、適切な保育・間伐等を実施して災害に強い森林づくりを図る。</p> <p>補助率:定額</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算			409	1,481	800	
		補正予算	括弧内は農林水産省が計上した同様の事業(森林整備事業農林水産省0427 H24レビューシート番号)の予算額を参考記載しているもの		2,002	17	—	
		繰越し等		△ 1,937	(1,937)	△ 83	83	
		計		65	343	1,564	800	
	執行額			65	343	—	—	
執行率(%)			100%	100%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	水土保全機能の維持向上 育成途中にある水土保全林(土壌の保持や保水機能を重視する森林)のうち、機能が良好に保たれている森林の割合 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値	成果実績	%	—	73.70 (75.48)	73.77 (77.08)	78.68	
		達成度	%	—	94 (96)	94 (98)		
	森林の多様性の確保 多様な樹種や階層からなる森林への誘導面積 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値	成果実績	万ha	—	3.4 (3.96)	4.1 (5.52)	7.2	
		達成度	%	—	47 (55)	57 (77)		
	森林資源の循環利用 森林施業の集約化や機械化に必要な路網等の林業基盤の整備により、木材の安定的かつ効率的な供給が可能となる育成林の資源量 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値	成果実績	百万m ³	—	1,170 (1,150)	1,220 (1,180)	1,210	
		達成度	%	—	97 (95)	101 (98)		
	活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度
水源涵養機能等の森林の有する公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるための森林施業面積		活動実績 (当初見込み)	ha	—	57,766 (47,743)	55,105 (42,830)	— (45,619)	
単位当たりコスト	276 (千円/ha)		算出根拠	森林整備(植付・下刈・間伐等)に要した経費(国費) 15,233百万円/森林整備の実施面積 55,105ha 平成22年度単位当たりコスト343(千円/ha) 平成23年度単位当たりコスト376(千円/ha) 平成24年度単位当たりコスト276(千円/ha)				
平成25年度 内訳 年度予算	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	水源林造成事業費補助	1,481	800	事業対象地の減				
	計	1,481	800					

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	国民生活に不可欠な水源の涵養や国土保全等に貢献する事業であることから、国が国費を投入して行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	分取造林契約に基づいて合理的な支出が行われている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施に当たっては他の手段・方法等は考えられず、成果物として国民生活に不可欠な水源の涵養や国土保全等がもたらされるという点で本事業は有効である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	適切に事業が執行されていることから特段の改善点は見当たらない。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	災害に強い国土構造への再構築に向け、引き続き効率的な予算の執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努めていく。				
備考					
事業概要のURL http://www.green.go.jp/annai/gaiyou.html http://www.green.go.jp/gyoumu/zorin/index.html					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	平成23年	平成24年	97	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
343百万円

{ (農林水産省へ移替え) }



農林水産省(林野庁)
343百万円



A
(独)森林総合研究所
森林農地整備センター
343百万円

{ 水源林造成事業の実施箇所決定、技術指導、水源林造成に要する費用負担 }



【水源林造成に係る費用負担】

水源林造成事業
B
造林者
343百万円
別海町森林組合
30百万円 外115者

{ 造林・間伐等の森林整備の実施
造林地の管理(火災、有害動物等による被害の予防、境界の保全等) }

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(独)森林総合研究所 森林農地整備センター					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
造林間伐等 経 費	水源林造成に係る費用負担	343			
計		343	計		0
B.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
造林間伐等 経 費	水源林造成に係る実施経費(別海町森林 組合30百万円外115者)	343			
計		343	計		0
C.					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)森林総合研究所森林農地整備センター	水源林造成事業の実施箇所決定、技術指導等	343		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	別海町森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	30		
2	栗駒高原森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	18		
3	福島県北森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	16		
4	高山村	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	15		
5	北村山森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	14		
6	有限会社大屋造林	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	13		
7	有限会社 志和造林	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	13		
8	津山町森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	9		
9	社団法人 吉田愛林公益会	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	7		
10	横手市森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	7		